

《水仙の花咲く》

今年の冬は早朝の気温がマイナスになることもなく、例年になく穏やかな日が続いています。北日本のスキー場では雪不足で、オープンできないところもあるようです。管理棟の南側にある花壇には水仙が咲き始めました。本校の校章にある花卉はこの水仙がモデルになっています。20年前に発行された創立20周年記念「近十年史」では当時の校長先生が次のように述べておられます。

「校章は、自然の生命を持つ中より、当地に自生して、厳寒に耐えて清く、香り高く咲く水仙を選んだ。花卉は六枚で花言葉はギリシャ神話より自尊である」

自尊心とは自分の人格を大切にする気持ち、あるいは自分の考えや言動などに自信を持つこと等と言われていています。生徒の皆さんが、このような気持ちを持ち、充実した日々を送ってくれることを心から願っています。（写真1枚目：1月21日（火）撮影）

《通信制》1月5日（日）、新しい年のスクーリングスタート

新しい年の湧心館高校の教育活動は、通信制課程の本校での後期7回目となる面接（スクーリング）からスタートしました。朝早くから多くの生徒が登校し、昇降口に立たれている先生方と挨拶を交わす光景が見られました。1限目、本校で最も広い508教室では下西先生の国語総合の面接が行われていました。黒板には「論語のことば」とあり、その下には「締切1月29日」の板書もありました。しばらく様子を見てみると、先生の話を一言も漏らさずに聞こうとする生徒の皆さんの真剣な姿勢が伝わってきました。自宅に帰ってレポートを仕上げることとなりますが、今日の面接を振り返ってしっかり学習してください。

（写真：上から2枚目）

《全日制》1月8日（水）、冬季休業明けの全校集会

2週間の冬休みも終わり、8時55分から地震や火災に備えてのスマイル訓練を実施し、第1体育館に移動し全校集会を行いました。まず、教務部主催の「なぜ勉強するかベストアンサーコンテスト」「時間を守る塗り絵コンテスト」の表彰式があり、それぞれ上位3位までの生徒が表彰されました。その後は鶴山副校長先生からの講話、教務部徳永先生及び生徒指導部渡邊先生からの話があり、整容検査、そして今年の授業がスタートしました。

体育館での生徒の皆さんの態度は、顔が上がり、先生方の顔を向いており、とても良かったと感じました。まずは聞く姿勢ができており、今年一年、どのように成長していくか楽しみにしていきたいと思えます

（写真：上から3枚目）

《定時制》1月23日（木）、真剣な雰囲気での授業

電灯が灯った各教室では、生徒たちの学ぶ姿があり、先生方の諭すような声も響いていました。1限目18時過ぎ、墨の香りが漂う芸術棟の書道室では中島先生が授業をされていました。生徒が筆を握り、広めの用紙に一文字一文字丁寧に、真剣な面持ちで漢字仮名交じり書をしたためていました。（写真：4枚目）

東教室棟205教室では南先生が1年生の地理Aの授業をされていました。黒板には世界の略図があり、中東の気候や地形などを学んでいました。思わず授業に引き込まれ、終わりのチャイムが鳴るまで聞き入ってしまいました。（写真：5枚目）

